

原子力の安全研究体制の充実・強化事業

令和1年度予算額 8.2億

担当課室：技術基盤グループ技術基盤課

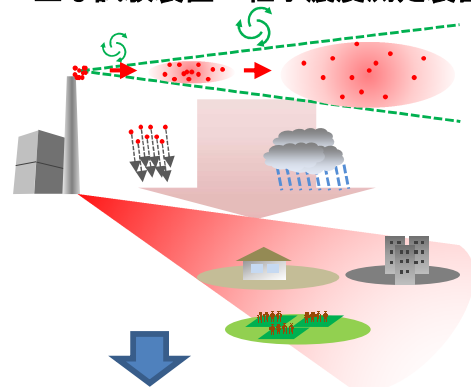
＜事業の背景・内容＞

- 原子力規制委員会では、研究機関や大学等、外部への委託・請負を中心に安全研究を行っているため、研究職員が携わる内容が制限されることや研究ノウハウが蓄積されにくいこと等の課題があります。
- そこで、原子力規制に必要な知見の整備及び研究職員の人材育成により研究体制の充実化を図るため、昨年度より研究の在り方を見直し、技術支援機関（TSO）である日本原子力研究開発機構との連携を強化するなど共同研究体制の充実・強化を図り、審査・検査等の規制ニーズに機動的に対応した安全研究の実施、研究職員の研究ノウハウの蓄積を行います。

＜共同研究のテーマ例＞

シビアアクシデント時のソースターム評価に関する研究

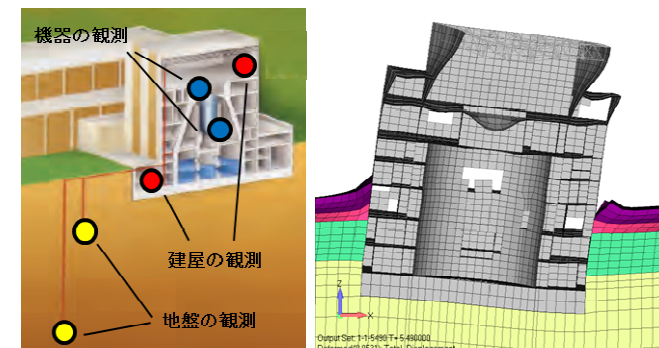
主な試験装置：粒子濃度測定装置



事故時のソースターム評価及び環境影響評価に資する。

原子力施設耐震評価用モデルの妥当性確認に関する研究

主な試験装置：地震観測装置、観測データの送信装置



地盤・建屋・機器の地震観測システムの整備

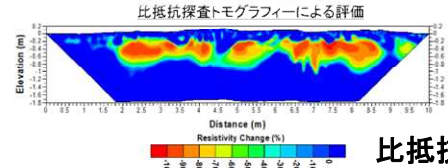
観測記録を活用した耐震評価用モデルの妥当性評価手法の確立

安全性向上評価等のガイドの改正等に資する。

廃棄物埋設の坑道閉鎖措置確認に係る研究

掘削損傷領域(EDZ)等の力学特性と水理特性の評価

廃棄物埋設地相当の坑道



原子炉等規制法に規定された「坑道の閉鎖に伴う措置」に係る具体的な規制の実施に資する。

主な試験装置：

比抵抗探査、3次元反射法探査装置